

# 稲城市議会 会派

# 起風会

き ふう かい

## 地域活動で汗をかき、現場から地域を変える「現場主義」+ 実現可能な解決策を提案し、実行に奔走する「現実主義」

### 桃栗三年柿八年、 提案十二年の収穫

誠

政治の役目一丁目一番地は、市民の生命と財産を守ることだと考えています。

初当選時から3期12年、全48回の議会一般質問に於いて一貫して防災並びに防犯について質疑し、特に東京都内唯一(島嶼部除く)、『単独消防のまち稲城』の防災力向上に努めました。

結果、上平尾消防出張所が開設されて市南部を中心とした救急到着時間が大幅に改善。各種資機材の充実は勿論、特に東日本大震災

### コロナ禍も、 やるべきことを淡々と

中

市議会議員3期目最終年度の令和4年度は、コロナ禍中でしたが普段の活動が徐々に復活し始めました。

しかし、役職を持っていない少数会派にとっては、まだまだ声がかかるイベントもほとんど無く、市議会での活動が中心となりました。

6月に開催された令和4年第2回定例会では「GIGAスクール構想に関する市の取組み」と「地域行事およびイベントの開催」について質問しました。

にて皆が経験したガソリン不足を補える貯蔵タンク増設や、12年で50件をも超える市内外企業との災害協定締結等、「東京消防庁に加入しないデメリットは無い」と断言出来る状況に。そして、稲城の人口増加を支える組合施行3箇所、市施行4箇所の土地区画整理事業が完遂出来るように推進し、上平尾は完結、小田良も終了間近ですが鶴川街道に未接道であるため、坂浜西・於部屋地区の面的整備を推進していく所存。南山東部では信号や街灯の設置、バス路線開通、子

供が遊べる公園の早急な整備等を要請しましたが、昨今の資材費・人件費高騰をどう乗り切るか、官民一体での取り組みが必須です。また、お気付きの方も多いと思いますが、先般3月に夕方のチャイム音が『稲城市歌』へ替わりました。平成28年12月議会で市歌作りを提言し、その後令和2年11月、市制50周年に併せ制定。昨年9月議会でチャイムへの採用を提案し、今回変更に至りました。世代循環のまちへ、故郷・稲城を想起する一助となることを期待しています。

翌7月には総務委員会の所管事務調査「市ホームページの改善」における先進自治体調査のため、港区・清瀬市を視察。9月の第3回定例会では「震災におけるマンション防災・地域防災」と「令和2年度稲城市財政白書」について、12月の第4回定例会では「アダプト制度」と「小中学校でいじめが発生した時の対応」と「一時預かり保育の対象年齢」と「災害用炊飯袋」について質問。

本年3月の令和5年第1回定例会では「稲城市の地域経済循環分析」と「稲城市の少子高齢化の状況」について一般質問を行い、さらに予算特別委員会で総括質問および総務分科会での質疑、一般会計予算について賛成討論を行いました。それと共に地域の活動も徐々に再開されつつあり、議員活動には派手さはありませんでしたが、私としては「今やるべきこと・やれること」に集中できた充実した一年となりました(消防団、わかばのマルシェ、自主防災組織の安否確認マニュアル見直し・防災訓練再開、管理組合業務へのシステム導入など)。



高橋市長と共に『稲城カレパーク2022』にて。



久々の先進自治体視察。質問にも熱が入ります！



人々が選ぶまち稲城を目指し、完全無所属の元会社員2人が結成した『起風会』。3期目の任期も満了です。



市内催事も徐々に復活！



市内外の学校にて政治・歴史の講師をしています。

### ◆議員番号5番、中田 中 なかたあた(53歳)

都立科学技術大(現 都立大)卒→日本HP、日本IBM。第2子誕生を機に自然・教育環境の充実した稲城市に惚れ込み転居。若葉台ワルツの杜在住。平成20年に稲城市教育委員、平成23年に稲城市議会議員初当選、現在3期目。昭和44年6月生まれB型。ICT活用の推進、地域の防災力の強化、にぎわい創出による地域活性化を自ら実践しつつ提案中!

【役職・資格等】・稲城市議会議員(3期)・同 総務委員会委員・稲城市土地開発公社 評議員・稲城市消防団第八分団 班長・青少年育成若葉台地区委員会 顧問・若葉台夏祭り実行委員・若葉台防災協議会 事務局・若葉台ワルツの杜自主防災組織 本部長・若葉台ワルツの杜 防火管理者・若葉台ワルツの杜自治会 副会長・日本防災士機構 認定防災士、他



www.ataru-nakata.com

### ◆議員番号6番、鈴木 誠 すずきまこと(40歳)

昭和57年山形県生まれ。平尾はなぶさ幼稚園～法政大卒→現(株)リクルート正社員入社、住宅情報『SUUMO』プロジェクト制作担当。現職唯一、総務・福祉文教・建設環境と3常任委員会の委員長全てを歴任。妻子(娘3人)と親世帯の6人暮らし。

【役職・資格等】・稲城市議会議員(現職男性議員最年少)・福祉文教委員会委員長・稲城市中華総会副議長・稲城市青年会議所第41代理事長(わんぱく相撲行司/かえっこバザール オークション)・稲城市消防団第六分団分団長・稲城市パドミントン連盟男子代表選手・稲城まちかど楽友協会理事・稲城楽しく第九を歌う演奏会実行委員長・共生型こども食堂クッチイナいなぎ理事・自転車のまち稲城共同代表・平尾宅地分譲住宅自治会事務局長・平尾杉山神社奉賛会理事・林英臣政経塾塾士(第九期)・日本防災士機構認定防災士・日本赤十字救急法救急員・関東総合通信局陸上特殊無線技士、経済産業省情報処理技術者(ITp)、他



www.inagi.info



# 起風会に聞く

脱・コロナの令和5年とは？  
《インタビュー：守屋亮》

「大半がコロナ禍であった任期を振り返って如何か」

中田.. 私たち起風会2人は、自らが活動の担い手として地域に関わる「現場主義」と、思想信条にとらわれず現実的な解決策を提案する「現実主義」をモットーに任期を全力疾走したという強い自負があります。



信念と協調関係は良いことだと捉えています。ずっと二人ぼっち...というのも大きな課題です(苦笑)

一般質問等も含め多くの新規施策の実現は勿論、勇気をもって「やめるべき施策はやめる」ことにも取り組むことが出来ました。

鈴木.. 3期目ともなると市議会の中では中堅どころ。成果は勿論ですが反省点も多々あります。中でも一番残念だったのは会派拡大が出来なかったことです。自分たちが市井の中で活動することで、そのアドバンテージを市行政側に対す

る議員活動に活かすこと。党略に惑わされず、長いモノに巻かれず、地に足着けた手法に共感してくれる同志を増やさなければ、と。

中田.. 令和4年度も新型コロナウイルスによる猛威は継続しましたが、感染防止対策をしっかりと継続しつつ、お祭りやイベント等、コロナ前の日常生活を取り戻してきた一年だったと思います。

鈴木.. 我が国の隣国・ロシアによるウクライナ侵攻も2年目。北朝鮮のミサイル発射、中国共産党による台湾統一等、地政学的ハイリスクが再認識されました。

国内では安倍元首相の銃撃..。これは宗教問題ではなくテロ事件ですが、武力で自己保身や要望実現を図る行為は許せません。

残念ながら、いくら対話や法律で解決目指せど、分かり合えない他者・他国には通じないことが白日の下に曝された近年でしたね。

## 「ウクライナ危機等、市政に影響を与える出来事は」

中田.. 同危機に端を発する世界的な輸入物価上昇と、円安を背景にした物価上昇は当然に稲城市民の生活も直撃。今後は脱炭素や原発再稼働といったエネルギー構造の転換、企業が適切に

価格転嫁を行うことによる賃上げ、更に国内需要の拡大につなげていかなければならないと考えています。

鈴木.. 福祉文教委員長として『子育て支援』をテーマにこの2年間取り組んだ身として最近注目しているの



代表質問  
6番 鈴木 誠 議員  
起風会  
高齢化社会は現時点でピークになりつつあり、今後は人口減少社会に突入。国策としての少子化対策と共に、稲城っ子が稲城に戻る『世代循環』の考えが重要であると提唱。

は『異次元の少子化対策』です。これまで「子育ての責任は全て親にある」といったことが当然のように言われてきましたが、子育て支援の在り方が変わり始めていると感じています。

団塊ジュニア世代が子育て適齢期を過ぎ、日本の少子化は不可避。しかし、年金・健康保険といった社会保障制度の破綻を少しでも抑えるために出来ることは

抑えなければなりません。一地方自治体の完全無所属議員として、目の前にある「今、稲城市として出来ること・やるべきこと」を主眼に取り組みました。

## 「令和5年度予算に対してどのように取り組んだか」

中田.. 第五次稲城市長期総合計画も3年目、インフラ整備等様々な事業が本格的に動き出しています。その

中で健全財政の維持、策定する計画内容の確認、デジタル・防災・地域活動など分野で“鋭い”質問をすることを意識しました

鈴木.. 稲城駅・京王よみうりランド駅の駅前広場見直しに併せた市内バス交通網整理、学童待機児童対策も兼ねた放課後子ども教室

でのおやつ提供、子どもシヨートステイ事業委託先を市外から市内のサレジオ施設に変更、私が長年提案して来た文化財のデジタルアーカイブ化、多くの子供

が居るのにボール遊びが出来ないのが無い南山の公園整備等を重点的に質疑。中田.. 基盤整備を着実に進めるための財源確保や、基盤整備の進捗に伴う個人市民税と固定資産税の増による投資回収、普通交付税の見直し、普通交付税及び臨時財政対策債減の影響、交

付税交付団体であり続けること、隠れ人件費と言われ

る物件費等も精査し、また今後の市政の方向性を決める稲城市こども計画、カーボンニュートラル推進計画、障害福祉計画、平尾団

地再生基本構想図、まちづくり条例策定方針、第四次教育振興基本計画、市立学

校適正学区等検討委員会について、懸念・検討事項について確認し、やり方を提案させていただきました。

鈴木.. いま中田さんの話にあった『稲城市まちづくり条例』については今から約8年前、平成27年6月15日の建設環境委員会にて私が初提案した案件。本格的な検討開始に感無量です。中田.. 他には、地方公共団体情報システム標準外機能への対応、電算管理費の内訳、統合型校務支援シス

育の小・中学校連携、稲城市庁舎の災害対策、地震自動解錠ボックス設置場所の平準化等はIT・防災のプロ目線で提言。

鈴木.. 先ほど少子化不可避と言いましたが、小田良や上平尾、南山中心に子育て世代の流入増で、稲城市の人口は着実に増加。

一方、平尾団地やニュータウン地区を中心に高齢化も進んでいます。昨今はコロナ禍による行動自粛、核家族・共稼ぎ世帯の増加、SNS全盛によるリアルコミュニケーション不足等、問題山積。地域コミュニティをいかに時代にフィットさせ、存続していくかが、地域の喫緊の課題になっていると感じます。

## 「課題に対する打ち手は何か」

中田.. 来月には新型コロナウイルスが5類へ移行。行動制限の無い卒業式・入学式、花見の季節、世の中は脱コロナに向かっています。それと並行して地域コミュニティの活性化には行政だけでなく議会と地域の全員が主体性を持って取り組むことが必要。

鈴木.. その通り。様々な活動が再開される中、過去の伝統を活かし、次世代にも持続可能なま



賛成討論  
5番 中田 誠 議員  
起風会  
起風会からの提案に適切に取り組んでいただくこと、地域の声に耳を傾けていただくことをお願いして賛成討論に立ちました。尚、予算案に対する反対は日本共産党のみ。